

寄贈図書リスト

Black Holes Wormholes and Time machines

Jim Al khalili, A5 判, 265p, £16.5, Institute of physics p Bristol and philadelphia

星の地図館

林完次・渡部潤一, A4 判, 159p, 4,800 円, 小学館

日の出・日の入りの計算

長沢 工, A5 判, 160p, 1,500 円, 地人書館

活動する宇宙

柴田一成・福江純他, A5 判, 272p, 4,300 円, 裳華房

理科年表

国立天文台編, A6 判, 1064p, 1,200 円, 丸善
宇宙スペクトル博物館〈X線編〉

栗野論美他, CD-ROM + B5 判ガイドブック, 4,300 円, 裳華房

オーロラ

上出洋介, AB スモール判, 176p, 2,000 円, 山と溪谷社

銀河系と銀河宇宙

岡村定矩, A5 判, 272p, 5,200 円, 東京大学出版会

月報だより

月報だよりの原稿は毎月 20 日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。

e-mail で gjjimu@tenmon.or.jp 宛、なお、原稿も必ず 0422-31-5487迄 Fax でお送り下さい。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目にしたがってご投稿下さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員 (ポスト・人数など), 2. (1) 所属部門・所属講座, (2) 勤務地, 3. 専門分野, 4. 職務内容・担当科目, 5. (1) 着任時期, (2) 任期, 6. 応募資格, 7. 提出書類, 8. 応募締切・受付期間, 9. (1) 提出先, (2) 問合せ先, 10. 応募上の注意, 11. その他 (待遇など)

名古屋大学太陽地球環境研究所教官公募

1. 助手 1名
2. (1) 太陽圏環境部門, (2) 東山分室
3. 太陽圏環境部門では、太陽宇宙線・銀河宇宙線、太陽風の加速機構と伝播の研究を行っています。今回人事公募する研究プロジェクトグループでは、太陽圏環境に大きな影響を与えている高エネルギー宇

宙線の生成、加速、伝播機構の解明、及び類似の高エネルギー天体現象の研究を行っています。また、C14 やナイトレイトによる太陽活動変遷の解明も行っています。今回の公募では、冬の乗鞍、世界の高山、砂漠、極域等での研究観測を積極的に進めてくださる方を希望しています。また、共同利用研究所としての任務を十分に理解されていることも必要です。

5. (1) 平成 12 年 4 月 1 日以降の、できるだけ早い時期
6. 修士号または博士号をお持ちの方。
7. 履歴書、研究歴、業績リスト、主要論文別刷、研究計画書及び自薦の場合は本人について意見を述べられる方 2 人の氏名と連絡先を記入した書面、他薦の場合は 2 人の方からの推薦書。
8. 平成 12 年 2 月 14 日(月)
9. (1) 〒 442-8507 愛知県豊川市穂ノ原 3-1-3
名古屋大学太陽地球環境研究所
所長 上出 洋介
電話：0533-89-5183
Fax：0533-89-0409
E-mail：kamide@stelab.nagoya-u.ac.jp
- (2) 〒 464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学太陽地球環境研究所東山分室
太陽圏環境部門教授 村木 綏
電話：052-789-4314
Fax：052-789-4313
E-mail：muraki@stelab.nagoya-u.ac.jp

11. 名古屋大学太陽地球環境研究所人事選考委員会の選考に基づき、同研究所運営協議会の意見を求めて、教授会において決定します。なお、該当者がいない場合は決定を保留します。

宇宙科学研究所教官公募

1. 教授 1名
2. (1) 宇宙圏研究系 高エネルギー天体物理学第一部門, (2) 神奈川県相模原市由野台 3-1-1 宇宙科学研究所
3. 飛翔体を用いた高エネルギー天体物理学の研究.
4. 2000年2月に打ち上げられる予定のX線天文衛星 Astro-E の観測運用の実効をあげ、それに続く次期X線天文衛星計画の具体化、国際協力の推進を積極的に進めるとともに、広く、高エネルギー天体物理学の観測的研究・衛星計画推進・機器開発に指導的役割を果たす方を希望する。なお、当該部門は、現在、満田和久助教授・石田学助手・藤本龍一助手が在籍し、高エネルギー天体物理学第二部門、同第三部門と協力して研究を行っている。大学共同利用機関である本研究所の役割を理解し、共同利用諸計画の遂行にも積極的な役割を果たしていただく必要がある。
5. (1) 決定後できるだけ早い時期
6. 博士の学位を有し、大学院博士課程の研究指導を担当できる方。
7. (1) 略歴, (2) 研究歴, (3) 論文リスト及び主要論文別刷り, (4) 研究計画書, (5) 他薦の場合、推薦書2通、自薦の場合、本人について意見を述べられる人2人の氏名と連絡先。
8. 2000年3月17日(金)必着
9. (1) 〒229-8510 神奈川県相模原市由野台 3-1-1 宇宙科学研究所 庶務課人事係
(2) 宇宙圏研究系 井上 一
Tel: 042-759-8149
Fax: 042-759-8455
E-mail: inoue@astro.isas.ac.jp
10. 封筒の表に、「宇宙圏研究系教授応募(推薦)書類在中」と朱書して下さい。
11. 選考は、宇宙科学研究所運営協議員会において行います。応募者に適任者がいない場合は決定を保留することがあります。

国立天文台 COE 研究員公募

1. 研究者若干名
 2. 以下の各分野で公募します。
- (1) 宇宙電波分野
ミリ波干渉計の超高帯域相関器の開発、45m ミリ波望遠鏡のマルチビーム超伝導受信機の開発、45m 望遠鏡と干渉計を結ぶレインボウ計画などミリ波・サブミリ波観測性能の高感度プロジェクトに従事し、電波天文学分野における先進的な観測研究を推進する。
- (2) 長野県南佐久郡南牧村野辺山
- (1) すばる望遠鏡プロジェクト
建設中の大型光学赤外線望遠鏡「すばる」のプロジェクトに従事し、各種の技術開発・試験・観測・研究を推進する。
- (2) 東京都三鷹市、岡山県浅口郡、ハワイ観測所など。
- (1) VLBI 分野
VSOP、国内 VLBI 等のプロジェクトに従事し、活動的銀河核・星形成領域や星周領域のメーザー源などの観測・研究を推進する。
- (2) 主として東京都三鷹市
- (1) 一般分野
○天文学データ解析計算センター(地上観測を中心とした総合的天文データベースの構築等)
- (2) 東京都三鷹市
○理論天文学(大規模天文シミュレーション及び計算機共同利用の推進等)
- (2) 東京都三鷹市
○太陽物理学(「ようこう」衛星、太陽フレア望遠鏡等)
- (2) 東京都三鷹市
○位置天文・天体力学研究(重力レンズによる位置天文、重力波関連の技術開発)
- (2) 東京都三鷹市
○地球回転(地上 VLBI 統一計画、月面 VLBI 等)
- (2) 岩手県水沢市又は東京都三鷹市
○太陽電波(電波ヘリオグラフ等)
- (2) 勤務地: 長野県南佐久郡南牧村野辺山 411
5. (1) 平成12年4月以降, (2) 原則として2年
 6. 博士の学位を取得または平成12年3月31日までに取得見込みのもので、平成12年4月1日現在35歳未満のもの
 7. (1) 履歴書(写真付き), (2) 研究歴, (3) 研究論文

- リスト（査読論文とそれを区別し，共著の主要論文には役割分担を記すこと）(4) 主要論文の別刷又はコピー，(5) 研究計画書（希望の分野・プロジェクトを明記のこと），(6) 推薦書（ある場合は添付）
8. 2000年2月21日(月)当日17時必着
9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台長 小平桂一
(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台企画調整主幹 観山正見
TEL: 0422-34-3738
10. 封筒の表に「COE 研究員応募書類在中」と朱記し，郵送の場合は簡易書留で送付すること．別に公募する「国立天文台研究員」に併せて応募することは差し支えない．
11. 待遇は非常勤講師の扱いで，給与は月額30万程度を供する．複数の分野に併願可能であるが，それぞれに応募書類を提出すること．

国立天文台研究員（非常勤研究員）公募

1. 研究員（若干名）

国立天文台において，開発，観測，研究等に積極的に取り組み，先進的な研究を推進する若手研究者を求める．以下に分野，及び勤務地を掲げる．

(1) 電波天文学分野（若干名）

- (2) 主として長野県南佐久郡南牧村野辺山

(1) 天文学データ解析計算センター（若干名）

- (2) 東京都三鷹市

(1) 光学赤外線天文学（若干名）

- (2) 東京都三鷹市（若干名）又は岡山県浅口郡鴨方町（若干名） 応募に関しては勤務地を明記のこと．併願も可能．

(1) 地球回転研究分野（VLBI 天文学を含む）（若干名）

- (2) 主として東京都三鷹市

(1) 一般（若干名）

上記以外の研究分野

- (2) 主として東京都三鷹市

5. (1) 平成12年4月1日以降

(2) 原則として任期2年

6. 大学院修士課程修了，又はそれと同等の学力を持つ者．

7. (1) 履歴書（写真付き），(2) 研究歴，(3) 研究論文

リスト（査読論文とそれを区別し，共著の主要論文には役割分担を記すこと）(4) 主要論文の別刷又はコピー，(5) 研究計画書（希望の分野・勤務地・受け入れ教官名（希望）を明記のこと），(6) 推薦書（ある場合は添付）

8. 2000年2月21日(月)当日17時必着

9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1

国立天文台長 小平桂一

〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1

国立天文台企画調整主幹 観山正見

TEL: 0422-34-3738

10. 封筒の表に「国立天文台研究員応募書類在中」と朱記し，郵送の場合は簡易書留で送付すること．別に公募する「国立天文台 COE 研究員」に併せて応募することは差し支えない．
11. 教務補佐員としての給与を支給する（詳細については上記に問い合わせること）．複数の分野に併願可能であるが，それぞれに応募書類を提出すること．

研究助成

第31回平成12年度

三菱財団自然科学研究助成応募要領

1. 助成の趣旨

近年の自然科学の進歩はめざましく，各学問分野の研究の深化はもとより，分野間の相互作用によりつぎつぎに新たな研究領域が誕生しつつあります．このような状況のもとで本事業は，これらの科学・技術の基礎となる独創的，かつ先駆的研究とともに，既成の分野にとらわれず，すぐれた着想で新しい領域を開拓する萌芽的研究に期待して助成を行います．

すぐれて独創的な研究は，医・理・工・農・薬等，自然化学の分野を問わず，全て助成の対象と致しますが，分野にまたがる新しい現象を模索する理論や，環境の基礎的研究も対象と致します．

なお，この助成金は研究達成のため十分に活用できるよう，その使途をとくに制限致しません．

2. 助成の概要

(1) 応募資格

本助成は，原則として，一つのテーマとして独立した個人研究（但し少数グループによる研究も含む）を対象と致します．完全公募制であり各研究者は自由に応募頂けますが，当

該代表研究者が日本国内に居住し、国内に継続的な研究拠点を有する場合（国籍等は不問）に限られます。又、営利企業等関係者は対象外となります。

(2) 助成金額

総額3億円を予定。1件当たり2千万円以内とし、採択予定件数は30件程度を目途と致します。なお研究の性質上比較的少額で足りる内容のものも充分考慮されます。

(3) 助成金使途

上記助成趣旨に記載の通り、制限はありません。通常の設備費、消耗品費、旅費等は勿論、研究上特に必要な場合は、研究補助者への謝金等も可（但し当該代表研究者がこれらすべての運用責任を持つ）とされます。

(4) 助成期間

1年を原則とします（助成金は、贈呈決定後、通常は1年間で使用される事となります）。研究の性質上1年を超えるものについても、弾力的に対処致しますので、ご相談下さい。

(5) 助成決定後の義務・条件

後記選考の結果、助成決定を受ける事に決まられた場合は、財団所定の、「助成承諾書」を別途提出頂き、これにより研究経過・完了の報告、収支会計報告、その他使途変更事前相談手続等の義務を負って頂く事になりますが、当面、これら事務事項以外の格別の義務・条件はありません。

3. 選考方法・結果通知等

(1) 選考方法

財団委嘱の下記委員からなる選考委員会において慎重審議の上、その答申案に基づき、平成12年7月開催予定の財団理事会・評議員会において正式決定されます。

(2) 結果通知等

- ・結果は、決定後直ちに代表研究者宛通知されます。なお「助成決定者」の一覧は、各種学術関係広報資料（科学新聞、学会ニュース等）にも掲載致します。
- ・決定者への助成金贈呈は、平成12年9月の予定です。

4. 応募方法

(1) 「助成申込書」の作成

イ。「申込書の内容・書式」は、当財団インターネットホームページ上にて“財団概要”、“助成応募要領”等共々、12月以降、平成12年度分を掲載致しますので、これをご参照下さい。

〔ホームページアドレス〕

http://www.dias.ne.jp/m_zaidan/

ロ。「申込書用紙」は、原則として、このインターネットホームページにて、ワープロ形式（一太郎、MS-WORD、Mac版EGWORD）で示してあるものをダウンロードの上、ご使用下さい。別に、当方より関係大学、研究所等宛に、送付済の用紙あるいはそのコピーを使用頂いても結構です。上記何れの方法にも依り得ない場合は、財団事務局宛、「宛先記入済の返信用角2封筒に、160円切手添付」の上、郵送ご請求あれば用紙等お送り致します。

ハ. 記入上のご留意点

- ・ワープロ又は、黒ボールペンを使用し、楷書で明瞭に記入して下さい。
- ・申込書の研究題目上部欄に申込研究題目のコード番号をご記入下さい。（別添コード表ご参照。なお本表は平成12年度版文部省科研費申請コードに準じたもの）。
- ・代表研究者が大学・研究所等に所属される場合は、当該大学・研究所等の所属機関の「長」から本件研究助成申込についてのご承認を得て下さい（申込書末尾書式の通り）。

又、他機関に所属する協同研究者の参加が必要な場合も、協同研究者の所属機関の「長」のご了承を、予め代表研究者よりお取り置き願います。

(2) 「助成申込書」の提出並びに受付

「助成申込書」の提出は、文書によります。昨年度迄実施しておりました「インターネット登録」は、平成12年度は実施致しません。又、FAXあるいはホームページ上での受付、E-mailでの申込受付も致しません。

「助成申込書」の正1通、副5通（コピー）を、左肩上で各ホチキス留めして、直接財団宛ご送付下さい。

なお、正1通には、採否結果通知用に使用しますので、結果連絡先の住所・氏名ご記入の名宛シール（定形封筒用サイズ）を1枚添付して下さい。

(3) 「助成申込書」受付の確認

「助成申込書」到着と同時に受付番号を採番しご返送しますので、宛先住所・氏名ご記入済の返信用はがきを同封して下さい（学内等で「助成申込書」を同時に多数ご送付の場合は、個人別はがき又は申込者氏名一覧表と80円切手貼付の返信用封筒を同封して下さい）。

財団法人 三菱財団
〒100-0005 東京都千代田区丸の内2丁目5番2号
(三菱ビルディング15階)

電話 東京03-3214-5754 番

FAX 東京03-3215-7168 番

(4) 応募期間

平成11年12月20日(月)

～平成12年2月22日(火)

(極力早目にご提出下さい。)

研究会・集会案内

筑波大学計算物理学研究センター国際会議
“The Physics of Galaxy Formation”

主催：筑波大学計算物理学研究センター

日時：2000年7月3日(月)～7日(金)

場所：筑波大学学生会館

〒305-8577 つくば市天王台1-1-1

電話 0298-53-2034

内容：「銀河形成の物理」に関わる下記のとピックスについて、研究の世界的現状を網羅し、包括的討論と情報交換を行う。

○ CMB & Initial conditions ○ Pop III objects

○ Primordial galaxies ○ Intergalactic medium

○ Galactic evolution ○ Nuclear phenomena

参加費：一般15,000円、学生10,000円(プロシーディングス、エクスカーション代を含む。ただし4月21日以降の登録は一律20,000円)

参加申込締切：口頭発表—2000年3月20日(月)、ポスター発表—2000年4月20日(木)、参加登録—会議当日まで可能。ただし、登録費早期割引およびエクスカーションの申し込み受付は2000年4月20日(木)まで。

連絡先：

〒305-8577 つくば市天王台1-1-1

筑波大学計算物理学研究センター 梅村雅之

電話：0298-53-6494 Fax: 0298-53-6489

Email: gf2000@rccp.tsukuba.ac.jp

URL:

http://www.rccp.tsukuba.ac.jp/Astro/Meetings/gf2000/

会務案内

日本天文学会早川幸男基金受給者募集要項

日本天文学会 早川幸男基金(若手海外学術研究援助基金)内規*に基づき、海外学術研究に対して援助を希望する者を募集(2000年度第2期)致します。

1. 援助金総額 年間200万円(2000年度)
2. 援助件数 年間10数件程度
3. 募集対象期間 2000年4月1日～6月30日の間に日本を出発するもの。また前回の応募時に間に合わず、すでに渡航してしまった場合はその事情説明をつけて応募して下さい。
4. 応募必要書類(少なくともコピーの分はA4紙に統一すること)

原本1部、コピー5部。

書類(特にコピーの分)に不備があると審査段階で不利益を被る恐れがありますのでご注意下さい。

- (1) 応募用カバーシート(第92巻4号242頁の応募用紙をA4に拡大コピーして使用する)。なお、渡航目的と応募者の研究内容との関連は詳しく書くこと。渡航費見積金額は航空運賃を記入して下さい(保険料、出入国税等は含めない)。
 - (2) 論文リストを含む研究業績
 - (3) 観測については、観測計画通知および観測提案の写しか、それに準ずるもの
 - (4) 国際共同研究については、渡航先の招聘状および研究計画の概要
 - (5) 研究会参加については、当該研究会開催の主旨を説明する資料、プログラム、および応募者の寄与(口頭発表等)を証明するもの
 - (6) 大学院生の場合、研究指導者の意見書
 - (7) 航空運賃の見積書、渡航後の場合は領収書のコピーも添付する。
 - (8) 関連研究論文の写し(一編)
5. 応募締切：2000年3月10日必着
 6. 決定時期：2000年3月下旬
 7. 応募書類送付先：

〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1

国立天文台内 日本天文学会 早川基金募集係

* 早川基金内規(社団法人日本天文学会定款参照)による援助対象資格は「日本天文学会会員で、原則として35歳以下の天文学研究者であって、この基金以外の海外渡航費(滞在費を除く)の援助を受けない者。」です。

©2000年はこの後、6月10日締め切りで2000年7

月～9月出発分の募集を行う予定です。応募希望者は書類等の準備をしてください。
 ◎援助者には、帰国報告書の提出をお願いします。

柴田一成	22
☆ 古在由秀	21
中川貴雄	21
松本敏雄	21
井上 允	20

得票数 19票以下は割愛します。
 1999年12月14日

評議員選挙管理委員会
 委員長 川村静児

評議員選挙結果報告

任期 2000年～2003年の評議員選挙を評議員選挙施行細則に従って、1999年11月13日～1999年12月12日を投票期間として行いました。1999年12月13日に開票作業を行い、以下の結果を得ましたので報告します。

なお、☆印は現評議員を示し、そのうち○印は、評議員選挙施行細則第6条による再任者7名です。定款第25条により当選者15名は次期総会の承認を得ることになっております。

送付投票用紙数：1400（有権者数）
 有効回答数：277名
 投票総数：2770票
 有効票数：2130票
 白票：632票
 無効票：8票

当選者以外の当選者名（15名）と得票数

○☆ 池内 了	100票
○☆ 家 正則	78
○☆ 佐藤勝彦	72
木下大輔	68
高津裕通	68
○☆ 谷口義明	65
○☆ 松田卓也	57
○☆ 小杉健郎	56
○☆ 長谷川哲夫	49
石黒正人	34
佐藤修二	28
渡部潤一	27
野本憲一	26
中村卓史	24
林 正彦	23

上位得票者（20票以上）

☆ 祖父江義明	37票
☆ 尾崎洋二	35
☆ 杉本大一郎	27
☆ 半田利弘	26
☆ 今井 裕	24
☆ 羽部朝男	23

日本学術会議第18期会員候補者の選挙結果報告

日本学術会議会員候補者推薦内規（日本天文学会定款参照）にしたがい、投票期間を1999年11月13日～12月12日として選挙を行い、12月13日に開票作業を行いました（天文月報 1999年10月号参照）。選挙結果は以下の通りです。

送付投票用紙数	1400
投票総数	287
有効票数	282
白票	4
無効票	1

氏名	得票数
池内 了	271票
小平桂一	3
他8名	各1

氏名は割愛します。

1999年12月14日

選挙管理委員会委員
 委員長 川村静児